



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 オートウェーブ 上場取引所 東
 コード番号 2666 URL http://www.auto-wave.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣岡 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 廣岡 勝征 TEL 043-250-2669
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,797	△1.1	111	△21.0	183	0.7	233	21.9
2019年3月期第3四半期	5,861	8.2	141	118.8	182	94.5	191	198.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 232百万円 (21.6%) 2019年3月期第3四半期 190百万円 (207.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	16.13	—
2019年3月期第3四半期	13.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	8,286	3,261	39.4	225.71
2019年3月期	8,247	3,029	36.7	209.65

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,261百万円 2019年3月期 3,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,388	△5.6	50	59.7	158	172.4	165	117.1	11.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3 Q	14,451,000株	2019年3月期	14,451,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3 Q	211株	2019年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3 Q	14,450,789株	2019年3月期3 Q	14,450,789株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が引き続き継続し、景気は緩やかな回復基調が続く一方で、2019年10月からの消費税率引き上げにより、増税後の節約思考が高まり、消費への引き締めが更に強まっております。また、国内では相次ぐ自然災害の経済に対する影響が顕在化するなど、景気の先行きにつきましては引き続き注視が必要な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、地元千葉県において、新車販売台数が堅調に推移いたしました。また、報道等による安全意識の高まりなどから、誤発進防止装置やドライブレコーダーなどの需要が継続して伸長する一方で、台風15号、台風19号の直撃や記録的な大雨などの自然災害が相次ぎました。

そのような中、当社グループでは「中期経営計画」を策定し、経営基盤の強化に取り組んでおります。カー用品需要の減少が続く中、自動車関連需要の川上の新車販売を強化するため、車検を起点に顧客接点をつくり、川下のタイヤなどの用品販売に繋げ、カーライフ需要の生涯顧客化に取り組んでおります。

また、多様化する顧客ニーズに応えることができるように、お客様の「不満」「不信」「不合理」等の「不の解消」のために行動をすることで、「安全」「安心」「快適」等を提供し、更なる顧客満足度の向上に取り組んでおります。

集客施策といたしましては、ご家族で楽しんでいただけるように、お子様の整備士体験や景品抽選会、縁日、ヒーローショーなどのお客様感謝祭の開催や、安全・安心への取り組みとして、衝突回避支援ブレーキ装着車の体感イベントや雨の日対策講座を行い、お客様との接点を増やしていくことで、より地域に密着したカーライフの需要創造に取り組んでおります。

主力4部門の状況につきましては、以下のとおりであります。

車検部門につきましては、来店顧客に対して車検予約キャンペーンの店頭声掛けを徹底したことや、既存顧客へのダイレクトメールによる早期予約を促進した結果、売上が前年同四半期比3.9%増加いたしました。

钣金部門につきましては、損害保険会社より指定修理工場として修理受入れを行っております。また、店頭での一般修理の受入促進や、作業工程の見直しによる1台当たり単価ならびに利益が上昇いたしました。しかしながら、先進安全自動車などの普及で、保険紹介による修理受入台数が減少し、売上が前年同四半期比1.2%減少いたしました。

自動車販売部門につきましては、消費増税に伴う駆け込み需要が発生したほか、認知拡大のための店頭アピールや社内研修による従業員スキルの向上を図ったこと、また、積極的に在庫車両の確保を行い納期の短縮を行った結果、軽自動車を中心に新車販売台数が順調に増加いたしました。併せて、中古車販売も堅調に推移した結果、売上が前年同四半期比7.2%増加いたしました。

タイヤ販売部門につきましては、消費増税に伴う駆け込み需要が発生したほか、顧客ニーズに合ったタイヤの提案ができる店内への改装を行ったことや、ピット入庫車に対する点検とその後のご案内ダイレクトメールの実施、また、当社購入顧客に対するアフターサービスの充実などで交換訴求を行ってまいりましたが、消費増税後の反動減や暖冬に伴うスタッドレスタイヤ需要の減少などがあったことで、売上が前年同四半期比3.2%減少いたしました。

その他部門につきましては、安全意識の高まりから、誤発進防止装置やドライブレコーダーなどの販売が伸長したものの、その他の車内車外用品については依然として需要の落ち込みが続き、売上が前年同四半期比6.5%減少いたしました。

千葉県を直撃した台風15号、台風19号の影響については、一部店舗及びピットの損壊による被害に対して「受取保険金」として特別利益に52百万円を計上いたしました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は5,797百万円(前年同四半期比1.1%減)、営業利益は111百万円(前年同四半期比21.0%減)、経常利益は183百万円(前年同四半期比0.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円(前年同四半期比21.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,286百万円と、前連結会計年度末比38百万円(0.5%)の増加となりました。負債は5,024百万円となり前連結会計年度末比193百万円(3.7%)の減少、純資産は3,261百万円で、前連結会計年度末比232百万円(7.7%)の増加となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比2.7ポイント増の39.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月8日の「2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	786,249	962,931
受取手形及び売掛金	352,242	311,432
商品及び製品	655,049	700,877
その他	231,490	274,705
貸倒引当金	△2,865	△3,070
流動資産合計	2,022,165	2,246,877
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,699,902	4,720,092
減価償却累計額	△2,400,355	△2,491,912
建物(純額)	2,299,546	2,228,179
土地	2,512,186	2,512,186
その他	1,185,359	1,199,818
減価償却累計額	△888,115	△927,185
その他(純額)	297,243	272,633
有形固定資産合計	5,108,976	5,012,999
無形固定資産	92,311	66,903
投資その他の資産		
敷金及び保証金	953,607	878,748
その他	70,828	80,580
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,024,428	959,321
固定資産合計	6,225,716	6,039,224
資産合計	8,247,882	8,286,101
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	286,571	341,799
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	7,644	4,032
ポイント引当金	1,587	1,457
災害損失引当金	—	6,206
その他	492,439	444,918
流動負債合計	988,242	998,413
固定負債		
長期借入金	3,100,000	2,950,000
長期預り敷金保証金	731,681	678,980
資産除去債務	359,310	365,309
その他	39,016	31,700
固定負債合計	4,230,008	4,025,991
負債合計	5,218,251	5,024,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,505,877	2,505,877
利益剰余金	423,745	656,778
自己株式	△155	△155
株主資本合計	3,029,467	3,262,500
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	163	△804
その他の包括利益累計額合計	163	△804
純資産合計	3,029,631	3,261,696
負債純資産合計	8,247,882	8,286,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,861,529	5,797,298
売上原価	4,014,456	3,928,508
売上総利益	1,847,073	1,868,790
販売費及び一般管理費	1,705,905	1,757,303
営業利益	141,167	111,486
営業外収益		
受取手数料	66,668	84,425
廃棄物リサイクル収入	13,996	10,141
その他	21,035	8,993
営業外収益合計	101,700	103,560
営業外費用		
支払利息	60,577	30,856
その他	127	742
営業外費用合計	60,705	31,599
経常利益	182,162	183,448
特別利益		
受取保険金	—	52,647
特別利益合計	—	52,647
特別損失		
固定資産除却損	6,347	1,314
災害による損失	—	17,250
特別損失合計	6,347	18,564
税金等調整前四半期純利益	175,814	217,530
法人税、住民税及び事業税	5,408	4,875
法人税等調整額	△20,822	△20,377
法人税等合計	△15,413	△15,502
四半期純利益	191,228	233,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,228	233,033

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	191,228	233,033
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△456	△967
その他の包括利益合計	△456	△967
四半期包括利益	190,771	232,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,771	232,065
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

当社グループは店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

当社グループは店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。